

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 6 月 13 日(2022.6.13)

【公開番号】特開 2020-198906(P2020-198906A)

【公開日】令和 2 年 12 月 17 日(2020.12.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-051

【出願番号】特願 2019-105798(P2019-105798)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 3 1 2 Z

A 63 F 7/02 3 1 6 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 3 日(2022.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を発射可能な発射手段と、

前記発射手段により発射された遊技球が入球可能な入球部を具備する第 1 入球手段とを備え、

前記第 1 入球手段への遊技球の入球に基づいて遊技者にとって有利な有利状態を付与可能に構成され、

前記第 1 入球手段は、当該第 1 入球手段の前記入球部の周辺部を移動する遊技球を前記入球部に案内する案内状態と、案内しない不案内状態との間を状態変化可能な案内手段を備えていることを特徴とする遊技機。

30

【請求項 2】

前記発射手段により発射された遊技球が入球可能な入球部を具備する第 2 入球手段を備え、

前記第 2 入球手段への遊技球の入球に基づいて前記不案内状態にある前記案内手段を前記案内状態とさせることが可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 入球手段は、前記案内手段が前記不案内状態にある場合においても、当該第 1 入球手段の前記入球部への遊技球の入球が可能に構成され、

40

通過する遊技球が前記第 1 入球手段に入球する可能性のある第 1 案内通路と、

通過する遊技球が前記第 1 入球手段に入球する可能性のない第 1 不案内通路と、

遊技球を特定の割合で前記第 1 案内通路と、前記第 1 不案内通路とに振り分ける第 1 振分け手段とを備え、

前記案内手段が前記案内状態にある場合に前記第 1 案内通路とされ、前記案内手段が前記不案内状態にある場合に前記第 1 不案内通路とされる条件付き第 1 案内通路を備え、

前記第 1 振分け手段は、前記案内手段が前記案内状態、及び、前記不案内状態のどちらにあっても、通過する遊技球が前記第 1 入球手段に入球する可能性のある前記第 1 案内通路に遊技球を案内する常時案内部と、遊技球を前記条件付き第 1 案内通路に案内する条件付き案内部とを具備する案内変化振分け手段を備えていることを特徴とする請求項 1 又は 2

50

に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記案内変化振分け手段の前記常時案内部に案内された遊技球が至る領域と、前記条件付き案内部に案内された遊技球が至る領域との境界に設けられる仕切り手段を備えていることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記第 1 不案内通路の一部には、通過する遊技球が前記第 2 入球手段に入球する可能性のある第 2 案内通路と、通過する遊技球が前記第 2 入球手段に入球する可能性のない第 2 不案内通路とが存在することを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

10

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の遊技機は、

遊技球を発射可能な発射手段と、

前記発射手段により発射された遊技球が入球可能な入球部を具備する第 1 入球手段とを備え、

前記第 1 入球手段への遊技球の入球に基づいて遊技者にとって有利な有利状態を付与可能に構成され、

20

前記第 1 入球手段は、当該第 1 入球手段の前記入球部の周辺部を移動する遊技球を前記入球部に案内する案内状態と、案内しない不案内状態との間を状態変化可能な案内手段を備えていることを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

40

50